



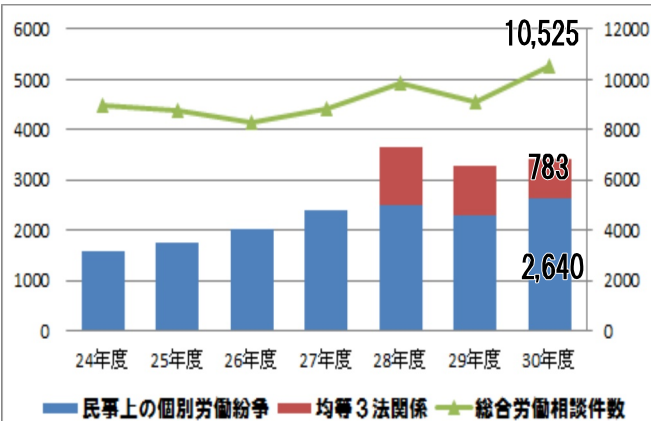
# GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局  
宮崎市橘通東3-1-22  
宮崎合同庁舎  
TEL0985(38)8821  
FAX0985(38)5028

ハラスメントの相談は

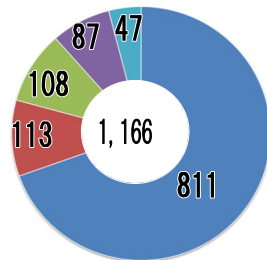
7年連続

## 「いじめ・嫌がらせ」がトップ



ここ10年で最多となっています。さらに、平成30年度の均等3法（男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、パートタイム労働法）に関する是正指導件数は1,685件で、前年度から5.1%減となっています。

なお、宮崎労働局には平成28年度から



総合労働相談の内容  
(ハラスメント関係)

- いじめ・嫌がらせ
- 育児・不利益取扱い
- 育児・出産等に関するハラスメント・不利益取扱い
- セクシャルハラスメント
- 介護ハラスメント・不利益取扱い

5か所の総合労働相談コーナーで対応していた民事上の個別労働紛争に関する相談、及び雇用均等室で対応していた均等3法に関する相談を総合労働相談として一体的に対応しています。

宮崎労働局は、平成30年度における総合労働相談の状況等を取りまとめました。平成30年度における総合労働相談件数は10,525件で、前年度から15.8%増加しました。

このうちハラスメントに関する相談は合計1,166件で前年度から12.4%増加し、相談件数の11.1%を占め、うち「いじめ・嫌がらせ」に関するものが811件で、7年連続トップでした。また、民事上の個別労働紛争に関する相談は2,640件で、



組織見直しにより「雇用環境・均等室」が設置され、これまで県内

組織見直しにより「雇用環境・均等室」が設置され、これまで県内

## 官民一体となって改革に取り組む

### ～第4回みやざき働き方改革推進会議開催～

7月22日、宮崎市において第4回みやざき働き方改革推進会議が開催されました。同会議は県内の主要な中小企業者を構成員とする団体やその他の事業主団体、労働者団体、宮崎県、宮崎労働局、その他の関係者など、22団体で構成。



会議で意見交換する風景

会議では、まず、宮崎労働局から下請け等中小事業者への「しわ寄せ」防止等について説明。続いて中小企業の働き方を支援する団体から、セミナー開催、個別相談など支援策を紹介。助成金の活用事例の報告もされました。参加者からは「中小企業が生産性を上げ

るためのアドバイスを各関係団体にしてほしい」「中小企業は取組に悩んでいる。いろいろな事例や課題解決の方向性を示してほしい」などの意見が出されました。

今後も同会議では議論を重ねて、県内の「働き方改革」の推進の取組につなげたいと思います。

## 最低賃金 (時間額)

# 790円

### を答申

大津局長(左)に答申書を渡す松岡最低賃金審議会会長(右)



宮崎地方最低賃金審議会（松岡優子会長）は、8月8日、宮崎労働局長に対し、現行の宮崎県最低賃金(時間額)762円を28円引き上げて、790円に改正する旨答申しました。なお、改正された宮崎県最

低賃金は、答申に対する異議申し出に関する手続きを経た後、10月初旬に発効される見込みです。

宮崎県最低賃金は、パートやアルバイト等の就業形態や年齢にかかわらず全労働者に適用されます。

子育てサポート企業

# くるみん認定

株式会社 宮崎日日新聞社

## 宮崎県内の情報通信業で初の2つ星



右から丸山社の高橋氏、田代総務局長、吉岡次長、大津労働局長



して社報に掲載するなど、男性の育児への参加の必要性や育児休業等の取得促進に努めていることなどが評価されました。

大津局長が田代総務局長に認定書を交付した後の意見交換において、田代総務局長は「柔軟な発想で時代に見合った取組を益々進めていきたい」と話されました。大津局長からは「働き方や職場環境を見直し、ワークバランスの向上に貢献してまいります。今後とも他の企業の模範となっていきたい」と激励しました。

福祉・建設・警備・運輸

# 人材確保のために

8月7日、人手不足の懸念が高まっている福祉、建設、警備、運輸分野の業界団体の方々が参加する宮崎人材確保対策推進協議会を開催しました。宮崎労働局での人材確保のための支援策、各業界での対策、業界間での連携について議論しました。宮崎労働局では、この議論を踏まえ、引き続き各業界の人材確保のための支援に努めます。



施策等の共有をする参加者

宮崎労働局は、7月26日に「くるみん」の認定式を実施しました。認定を受けたのは株式会社宮崎日日新聞社で、認定式も同社で行われました。2015年に続き2回目の認定となり、情報通信業で初の2つ星が付与されました。

同社は、半日有給休暇制度の導入や本社内におむつ換えシートを設置するなどの目標を達成しています。また、育児に取り組む男性社員の「イクメン社員体験談」と

夏休みにアルバイトをする前にぜひ知っておきましょう

# 高校生労働法を学ぶ

説明する佐々木労働基準監察官



宮崎労働局は7月22日、佐々木労働基準監察官を宮崎県立佐土原高等学校に派遣し、この夏休みに

アルバイトをする予定の学生37名を対象に、高校生向けの「アルバイトをする前に知っておきたいポイント」について、事例を交えながら講習を行いました。

労働時間や最低賃金など普段の学生生活では馴染みの薄いテーマでしたが、実際にアルバイトの予定を控えていたこともあるためか、受講した生徒たちは我事として真剣に耳を傾けている様子うかがえました。

# 労働災害をなくそう

～宮崎県の林材業～

8月2日、宮崎県林材業労働災害防止大会が新富町文化会館で開催され、大津労働局長が来賓のあいさつをしました。

大会は県内一円から林業関係者や林業従事者、県の関係者など総勢800名以上が参加し、宮崎労働局健康安全課の木村安全専門官が改正安衛法を踏まえ、「伐倒における作業方法などが一部義務づけられました。基本に立ち返って作業を行いましょう」と災害防止を訴えました。

挨拶する大津局長



# 働き方改革職場訪問

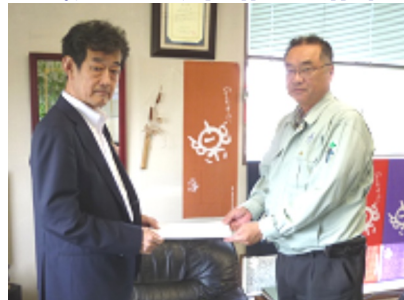
企業トップへ働きかけ

県内企業の「働き方改革」を推進するため、宮崎労働局は8月7日に株式会社都城北諸地区清掃公社を訪問し三島代表取締役から取組についてお話を伺いました。

同社では①半日単位の有給休暇制度を導入し、育児や介護等で柔軟に取得できるよう改正②非正規社員の正社員登用制度により毎年登用を実施③生産性向上に向けて業務の省力化を図るためタブ



## 株式会社都城北諸地区清掃公社



都城北諸地区清掃公社の三島代表取締役局長（右）と大津局長（左）

レット端末の導入を準備中とのこと。さらに、今年度初めて女性を現場に登用する等、女性活躍推進にも今後取り組んでいきたいとのこと、宮崎労働局からは、更なる取組の推進をお願いしました。